

バネペットのご案内

このたびは当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本器の性能を十分に発揮させるために、ご使用に当たってこの注意事項を最後までお読み下さい。
また必要とき参照できるよう大切に保存下さり、末永くご愛用下さいますようお願い申し上げます。

バネペットの特長

バネは、通常からみあった状態で袋や箱に入って納入されます。このからんだバネを人手でほぐし、機器や部品に組み込むわけですが、この時以下のような問題が発生します。

- ①人手では時間がかかり過ぎる。
- ②ほぐす際にバネを変形させたり、傷を付けてしまう。
- ③作業者がバネをほぐす時に神経を使うため、精神衛生上良くない。
- ④作業者がバネの先端でけがをする。

このような問題を一挙に解決するのが、バネ分離器「バネペット」です。このため、バネに起因する機器や部品の不良率が低下し、製品の品質が大幅に向上します。

バネペットの原理

バネの分離は、強く叩きつけたり、高いところから落としたりする方法がこれまで多くとられていました。しかし、これでは知恵の輪のように複雑に内部にからみこんでしまったものは、容易にほぐせません。弊社はばねの巻き方向に着目し、これと反対の方向の回転を与えることにより、この問題解消をしました。

バネペットの構造は、大変シンプルです。投入口からからんだバネを適量（後述）入れますと、モーターによって回転する突起物がバネをたたき、限られた円筒内で飛び回らせます。そして、分離したバネを順次排出口より排出します。

バネペットの仕様

型 式		BS-S4
特 徴		小型・軽量
※ 適用バネ寸法	外径 (mmφ)	2~10
	自由長 (mm)	2~20
	線径 (mmφ)	0.2~0.4
外形寸法	全高 (mm)	230
	巾 (mm)	120
	奥行 (mm)	190
質 量		約1kg



*コイルスプリング
(圧縮) 専用

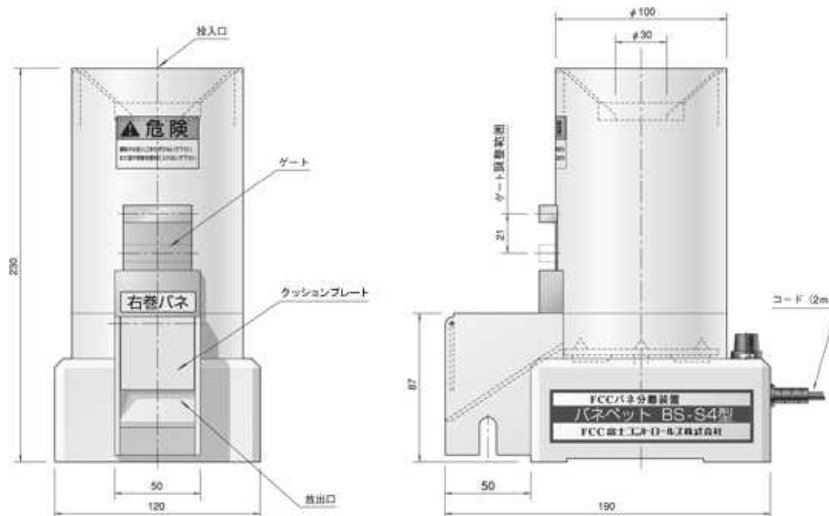


※適応バネ寸法内でも分離できない場合があります。

使用方法

BS-S4型

- ①100V電源に電源プラグを差し込んでください。
- ②排出口のゲートを下に降ろして、閉めてください。
- ③電源スイッチを入れてください。
- ④中の円盤が回っている事をワーク投入前に確認してください。
- ⑤投入口から20~30個程度のバネを投入してください。
- ⑥ゲートを徐々に上げて、排出口を開いてください。
- ⑦バネが排出されるちょうど良い所で、ゲートを固定してください。



※投入口からバネが飛び出してくる場合は、安全キャップ(オプション)をご使用ください。

補修用パーツ

モータ、円板、底板、フタ、ゲート、受皿、クッションプレート

ご使用になる前に

1. 一般的な注意事項

以下は当社製品を正しくご使用いただくための一般的な注意事項です。
個々の詳細な取り扱い上の注意は、以下に記述された諸事項及び注意をうながしている説明事項に従って下さい。

- 本器はコイルスプリング用の分離器です。
スプリング以外の物の分離や、他の用途にご使用になられましても故障や性能については保証いたしません。
- 本器は改造しないで下さい。
改造を施された製品については、機能・性能については保証いたしません。
- 本器は他の機械等とは組み合わせないで下さい。
組み合わせられた場合は、機能・性能については保証いたしません。

2. 取り扱い上のご注意

- 電源は AC 100V 50/60 Hz でご使用下さい。
- 切削屑、切削油、機械油、溶剤等のかかる場所でのご使用は避けて下さい。
やむを得ない場合は十分な対策を施して下さい。

3. 操作上のご注意

- コイルスプリングの投入は、電源 ONで本器の円盤が回転している時に行ってください。
- ご使用は投入口のフタを必ず付けた状態で行ってください。
フタを外す必要がある場合は、電源をOFFにして行って下さい。
- ワーク投入後（運転中）は投入口より内部を覗く事はしないで下さい。
コイルスプリングが飛び出し目に当たると人身事故の恐れがあります。
- 運転中は投入口より指等を入れないで下さい。
指を切断する人身事故の恐れがありますので、絶対に指等を筒の中には入れないで下さい。
- 運転中コイルスプリングを大量に投入して円盤が停止した場合は、直ぐに電源を切ってください。（電源スイッチOFFにして下さい）
出来れば電源プラグもコンセントより抜き、内部のコイルスプリングを取り出して下さい。手で円盤が軽く回れば運転を再開して下さい。
- 30分以上コイルスプリングを投入しない場合や、作業終了時には電源スイッチを切ると共に、電源プラグもコンセントより抜いて下さい。

⚠ 注意

電源 AC 100V 以外には接続しないで下さい。焼損事故を起こし火災の恐れがあります。
(AC100V以外の機種を用意しておりますのでご相談下さい。)

⚠ 注意

運転中は、投入口を覗いたり、指・ドライバー等の工具を入れることはしないで下さい。本器の破損や人身事故の恐れがあります。